

コア語彙2.1について

1

コア語彙概要

- 共通語彙基盤の核をなす
- オープンデータ、組織間の情報連携の双方に活用できる
- 人、氏名、組織、住所、施設など、多くのデータで共通に用いられる52個の用語を定義
- 各用語は階層構造をもつ
- 各用語の構造は概念的な構造で、XML, RDF, CSVなどの形式で表現可能
- 用語の一部のプロパティのみを使用してもよい

2

コア語彙の構造（例）

- コア語彙の各用語はいくつかのプロパティをもち、その型は基本型か他の語彙で表現される。そのため、用語は下記のような階層構造をもち、つ。

施設

説明:
特定のサービスを提供する施設を表現するためのデータ型

継承:
ic:地点型

プロパティ:

プロパティ名	データ型	Cardinality	説明
ID	ic:ID型	0..1	識別するためのID
名称	ic:名称型	0..n	名称
通称	ic:名称型	0..n	一般的に使用されている通称
場所	ic:場所型	0..n	所在地
要約	ic:要約型	0..n	概要説明, 100文字以内
説明	ic:説明型	0..n	説明
アクセス	ic:アクセス型	0..n	アクセス方法
参照	ic:参照型	0..n	追加情報等の参照先
画像	ic:画像型	0..n	
連絡先	ic:連絡先型	0..n	
設備	ic:設備型	0..n	
種別	ic:種別型	0..n	
種別コード	ic:種別コード型	0..n	
利用可能時間	ic:スケジュール型	0..n	
料金	ic:料金型	0..n	
収容人数	ic:収容人数型	0..n	
駐車場	ic:駐車場型	0..n	
建物	ic:建物型	0..n	
関連施設	ic:施設関連型	0..n	

連絡先【種別】

説明:
連絡先を表現するためのデータ型

プロパティ:

プロパティ名	データ型	Cardinality	説明
種別	ic:種別型	0..n	連絡先の種別
名称	ic:名称型	0..n	連絡先名称
組織	ic:組織型	0..n	連絡先が他組織に委任等されているときに記載
担当者役職	ic:担当者役職型	0..n	連絡先担当者の役職
担当者名	ic:氏名型	0..n	連絡先担当者の氏名
Eメールアドレス	ic:Eメール型	0..n	連絡先のEメール
住所	ic:住所型	0..n	住所
送付先	ic:送付先型	0..n	送付先の住所
電話番号	ic:電話番号型	0..n	連絡先の電話番号
内線番号	ic:内線番号型	0..n	連絡先の内線番号
FAX番号	ic:FAX番号型	0..n	連絡先のFAX番号
携帯電話番号	ic:携帯電話番号型	0..n	連絡先の携帯電話番号
Webサイト	ic:Webサイト型	0..n	WebサイトのURL
ID	ic:ID型	0..n	WebサイトのURL
対応言語	ic:対応言語型	0..n	連絡先との連絡

住所

説明:
住所を表現するためのデータ型。

プロパティ:

プロパティ名	データ型	Cardinality	説明
表記(電型)	ic:電型型	0..1	住所の全文。
郵便番号	ic:郵便番号型	0..1	郵便番号

3

コア語彙2.0からの変更点

- 実社会において活用できるものとすることを目標とした。
 - 2.0が主にコア語彙の構造に関する技術プレビューとしての位置づけであったのに対し、2.1では、実社会での活用に向けた追加・変更を行った
- 用語の基本的構造に変更はない。
- 2.0からの変更点
 - 更なる、語彙の精査
 - データ公開に適したRDFスキーマの提供
 - コードリストの整備
 - 海外主要語彙とのマッピング表(ドラフト)の提供

4

コア語彙2.1 XMLスキーマ（抜粋）

```
• <xsd:complexType name="人型">
•
•   <xsd:annotation>
•
•     <xsd:documentation xml:lang="ja">人の情報を表現するためのデータ型</xsd:documentation>
•
•   </xsd:annotation>
•
•   <xsd:complexContent>
•
•     <xsd:extension base="ic:実体型">
•
•       <xsd:sequence>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_氏名"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_性別"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_性別-コード"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_生年月日"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_死亡年月日"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_住所"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_本籍"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_連絡先"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_ID"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_国籍"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="unbounded" minOccurs="0" ref="ic:人_国籍-コード"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_出生国"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_出生国-コード"/>
•
•         <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" ref="ic:人_出生地"/>
•
•       </xsd:sequence>
•
•     </xsd:extension>
•
•   </xsd:complexContent>
•
• </xsd:complexType>
```

5

コア語彙2.1 RDFスキーマ（抜粋）

```
• .ic:人 a rdfs:Class ;
•
•   rdfs:label "人"@ja ;
•
•   rdfs:comment "人の情報を表現するためのデータ型"@ja ;
•
•   rdfs:subClassOf ic:実体

• .ic:人_ID a rdf:Property ;
•
•   rdfs:label "ID"@ja ;
•
•   rdfs:comment "ID"@ja ;
•
•   rdfs:domain ic:人 ;
•
•   rdfs:range ic:ID

• .ic:人_住所 a rdf:Property ;
•
•   rdfs:label "住所"@ja ;
•
•   rdfs:comment "現住所"@ja ;
•
•   rdfs:domain ic:人 ;
•
•   rdfs:range ic:住所

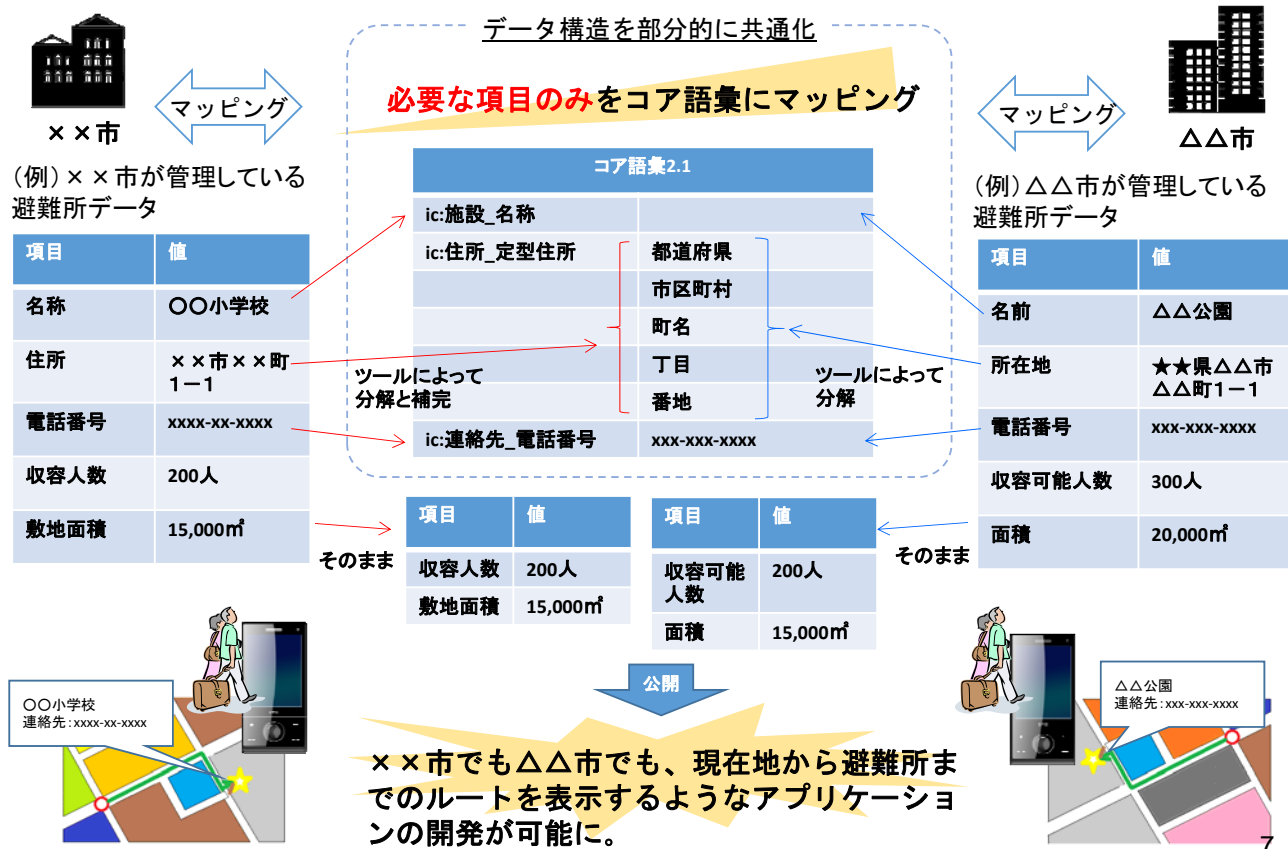
• .ic:人_出生国 a rdf:Property ;
•
•   rdfs:label "出生国"@ja ;
•
•   rdfs:comment "生まれた国"@ja ;
•
•   rdfs:domain ic:人 ;
•
•   rdfs:range xsd:string

• .ic:人_出生国-コード a rdf:Property ;
•
•   rdfs:label "出生国(コード)"@ja ;
•
•   rdfs:comment "生まれた国のコード"@ja ;
•
•   rdfs:domain ic:人 ;
•
•   rdfs:range ic:コード

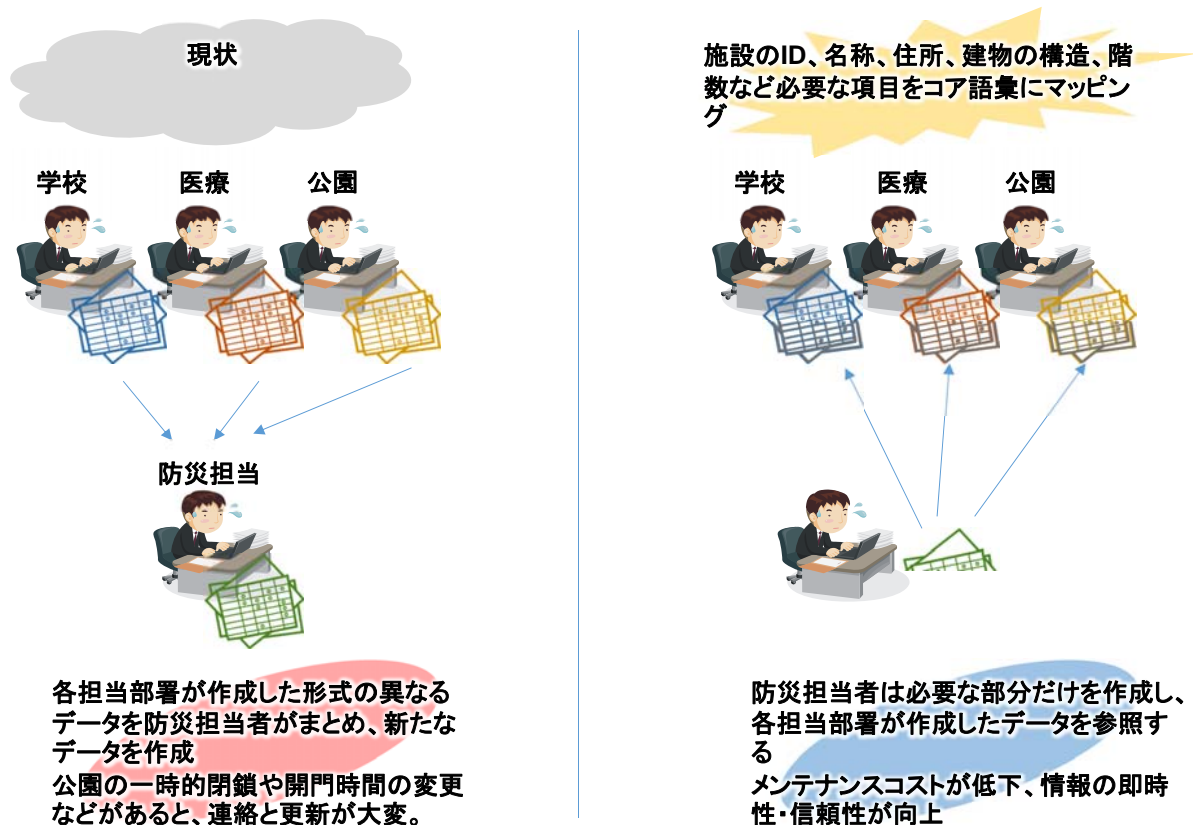
• .ic:人_出生地 a rdf:Property ;
•
•   rdfs:label "出生地"@ja ;
•
•   rdfs:comment "生まれた場所"@ja ;
•
•   rdfs:domain ic:人 ;
•
•   rdfs:range ic:場所
```

6

コア語彙2.1活用シナリオ（避難所情報）



コア語彙2.1活用シナリオ（組織間連携）



コア語彙2.1活用シナリオ（観光イベント）

イベントの名称、開催期間、開催場所、主催、連絡先など必要な項目をコア語彙にマッピングする

